



泗水図書館 ☎ 0968 (38) 6866  
 中央公民館図書室 ☎ 0968 (25) 1672  
 七城公民館図書室 ☎ 0968 (25) 1580  
 旭志公民館図書室 ☎ 0968 (37) 3111  
 内線 303

**閉館日・閉室日**

泗水図書館 月曜日・月末・祝日  
 中央公民館図書室 火曜日・第1日曜日・祝日  
 七城公民館図書室 日曜日・祝日  
 旭志公民館図書室 日曜日・祝日

菊池市図書館ホームページ <http://www.kikuchi-lib.jp/>

**司書のつづやき**

寒い冬を図書館で過ごしませんか？本との出会い、人との出会いで温かい気持ちになれるかも！



**新着・お薦め図書**

**泗水図書館**

北天の馬たち  
 黒書院の六兵衛  
 まほろ駅前狂騒曲  
 天使の柩  
 包丁侍舟木伝内  
 ネコと分子遺伝学  
 とっておきの標語  
 うさぎとかめ

貫井徳郎 著  
 浅田次郎 著  
 三浦しをん 著  
 村山由佳 著  
 陶 智子 著  
 仁川純一 著  
 村上しいこ 著  
 ジェリー・ピンクニー 作

**中央公民館図書室**

たぶんねこ  
 ライオンの棲む街  
 こんなにも優しい、世界の終わりかた  
 みぞれふる空  
 わんぱくだんのまほうのじゅうたん  
 アンパンマンとカラコちゃん

畠中 恵 著  
 東川篤哉 著  
 市川拓司 著  
 米本浩二 著  
 末崎茂樹 絵  
 やなせたかし 作・絵

**七城公民館図書室**

なぎさ  
 首のたるみが気になるの  
 としょかんのよる  
 浅田真央そして、その瞬間へ

山本文緒 著  
 ノーラ・エフロン 著  
 ローレンツ・パウリ 文  
 吉田 順 著

**旭志公民館図書室**

かぐや姫の物語  
 ガムテープバッグの作り方  
 うぶめ  
 ぴたっ！

高畑 勲 著  
 中島麻実 著  
 京極夏彦 作  
 あずみ虫 さく・え

**「パーシー・ジャクソンとオリンポスの神々」**  
 リック・リオーダン 作



泗水小学校6年 後藤瑞久くん

ぼくがおすすめしたい本は、「パーシー・ジャクソンとオリンポスの神々」です。この話は、アメリカの寄宿学校に通う主人公パーシー・ジャクソンが、ある時突然、ギリシャ神話の神々の息子だと告げられ、仲間のアナベスと親友のグローバーとともに旅にでる話です。

ぼくがおもしろいと思ったところは、神々は本当に実在すると思えるような書き方をしてあるところです。例えばハデスの冥界はロサンゼルススの地下、オリンポスはマンハッタンのビルの上などのアメリカのいろんな場所がでてきて、本当に冥界かオリンポスの神か場所がありそうな気にさせるからです。

他にもページの後ろの方には、パーシーたちの冒険の道順もなっています。どういう道のりで行ったのか分からなくなった時に一目で分かるし、読む時の楽しみにもなります。ぜひ長い本に挑戦してみたいと思っている人は読んでみてください。

**耳より情報**

**お話講座①を開催します♪**

と き 1月25日(土) 午後1時30分～3時  
 と ころ 泗水図書館

講 師 古木信子さん(作家・元熊本放送アナウンサー)  
 朗読と話し方の講師としても活躍中の古木信子さんをお招きして、お話と朗読を楽しみます。  
 定 員 40人  
 ※申し込み・問い合わせは泗水図書館へ



**☆リサイクル本を配布します☆**

と き 2月8日(土) 正午～午後5時  
 と ころ 泗水公民館

菊池まちづくり生涯学習フェスティバルで、図書館・図書室で貸し出しをしなくなった図書や雑誌のバックナンバーを無料で配布します。本を入れるためのバッグをお持ちください。  
 ※本がなくなり次第終了します。



**万句の里俳句会 11月例会**  
 着飾りて何時もと違ふ七五三 加藤 妙子  
 菊の香に酔へる小さき羽音かな 北村 妙子  
 山雨来て濡らしてゆきし旅衣 平山 邦子  
 小春日や水平線のくつきりと 宮本 雅子  
 山峡の早ばや翳り秋深む 林 まつ子

**せせらぎ俳句会 11月例会**  
 冬立つや廊下に並ぶ植木鉢 服部 静子  
 立ち話続き小春の小半時 藤本アツ子  
 留守居して老には辛き冬立てり 村山 数恵  
 逆光に透ける紅葉のいのちかな 五丁 義昭  
 落葉降る少年の日の秘密基地 藤本 邦治

**旭志文芸教室俳句の会 11月詠草**  
 朝の冷え花楚々として返り咲く 芹川のり子  
 散歩径しばし佇む秋落暉 中尾ヨシコ  
 秋暑し暦は既に寒露の日 芹川 蓉子

**肥後狂句水笑会 11月例会**  
 大皿に田舎の宴きぬかつぎ 水谷 ミネ  
 誇らしげ 膨れた財布ちらつかせ 田中レイ子  
 どう言うもんか 人が定着せん職場 高木 房恵  
 新品同様 市長が乗った下取り車 高倉 新米  
 嫌ねえ 隣の海老も詰めよらす 辻 弘喜  
 そして朝 どっちが先に口きくか 藤野 清子

**肥後狂句水笑会 11月例会**  
 皆欠席 案内状ば出し忘れ 井手 水光  
 皆欠席 鳥インフルは恐ろしか 宮上 美由  
 オレオレ そぎゃん名前はわしや知らん 柏原 乗仏  
 いっぺんどま あなたて言うてみよ 平井 江彩  
 うかな 人殺しまでさせられて 御手洗三代  
 あやつられ

**七城短歌会 11月詠草**  
 新米と聞いてしつかり手を合わす朝 高木 精  
 に匂う輝くご飯

**高齡者大学文芸部 11月歌会**  
 正月に孫に曾孫が来るなれば新鮮野菜と思いて作る 池田カツ子  
 庭すみのクリスマスローズ新芽伸び水を遣りつつ咲く花を待つ 水田紗陽子  
 松尾医師掘り当てられし合瀬川の湯今年も行ける九十四の我 岩津 涼子  
 野に張りぬ電線にカラスの大群が止まりて冬の到来識らせる 佐々 重弘

**菊池短歌会 12月詠草**  
 電柱のてっ辺にゐて夕鴉眼きびしく 山下 菊代  
 熟柿ねらう 鉄幹と晶子の歌碑も古り果てて長陽 余語やす子  
 村の紅葉の極み

**高齡者大学文芸部 11月歌会**  
 葉ごもりの青き柚子の実育ちをりこにも潜む秋の醍醐味 中川 愛子  
 はるかなる人を月日を鮮明に思い出させる河岸のコスモス 岩木タエ子  
 赤黄色今を盛りと燃え咲かせ菊池は迎ふる鶏頭の道 川口 敦子  
 宮園の裏の通りの斜り道椿、檜の実落ちては転ぶ 北村 玉恵  
 葉を落としあらわになりしカリンの実秋深まりて黄色を増せり 安東 綾子



見舞いたる曾孫の声の遠のきてたちまち暮れゆく姑の病室 安藤 則子  
 里帰りの娘に誘はれて湯の宿へこんな日もある生きゐればこそ 岩木 妙子  
 柚子百個刻み煮つむるママレードわが晩秋の厨の香り 林 まつ子

